

# Webページのナビゲーション

---

ビジュアルコンテンツデザイン 第5回

# ユーザインタフェース

ー ユーザインタフェースの概念とその重要性 ー

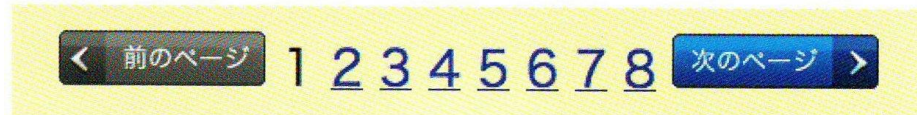
---

ビジュアルコンテンツデザイン 第6回(1)

# Webサイトにおけるユーザインタフェースの役割

**ユーザインタフェース** 利用者とWebサイトとの接触面

## ①現在の状態をユーザに知らせる

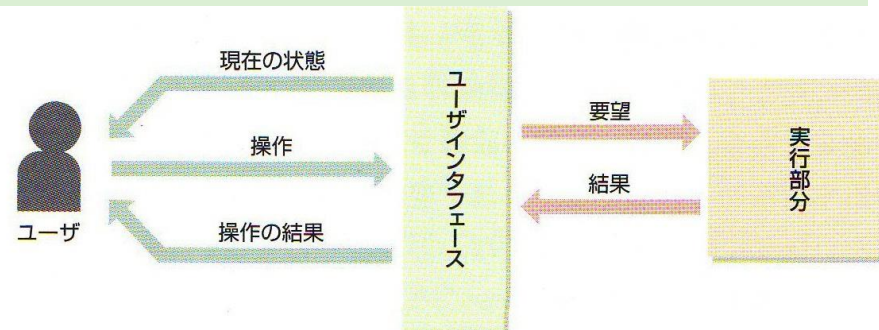


■図4.1——操作可能なボタン（次のページ）は青色で文字もはっきりしているのに対し、操作不可能なボタン（前のページ）は灰色で文字が目立たなくなっている。

デザインの差別化を  
操作可能な要素に行うとよい

リンク、ボタン  
メニュー

## ②ユーザの操作を実行部分に渡す



## ③操作の結果をユーザに知らせる

# 使いやすいインターフェースの要素

## メンタルモデル

「このように動くだろう」という予測

## アフォーダンス

モノそのものが自分自身の扱い方や操作方法に関する手がかりを与えてくれる、という考え



■図4.3——クリック可能であることをアフォーディングしているボタン



■図4.4——クリック可能であることをアフォーディングしていないボタン

メンタルモデルとの差異のある動き  
アフォーディングされていないデザイン



ユーザの戸惑い  
使いにくさ

# ユーザインターフェースの種類と役割(1)

## ①指示選択

リンク、ナビゲーション

コンテンツ要素の中からユーザが何かを指し示して選択すること

- ・指示選択の優先順位がない → デザイン均一化
- ・優先的に指示選択を受けたい要素がある → デザインの差別化を行う

## ②意思決定

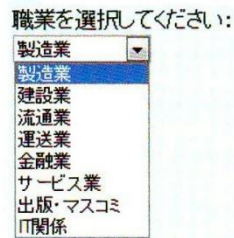
ユーザの意思決定をWebサイトに知らせること

- ・入力、選択後ボタンクリックで決定  
→ 確実な選択
- ・セレクトメニューを開き選択した時点で決定  
→ スピーディな決定

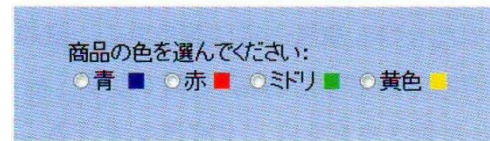
# ユーザインターフェースの種類と役割(2)

## ③選択肢

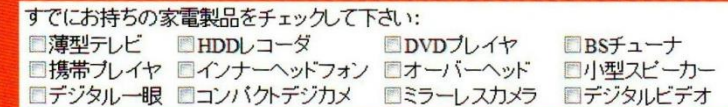
一定のルールに従ってカテゴライズされた選択肢の中から明確に選択を求めるもの



■図 4.5——セレクトメニューの例



■図 4.6——ラジオボタンの例



■図 4.7——チェックボックスの例

セレクトメニュー、ラジオボタン、チェックボックス

## ④文字入力

文章や、ログイン時のIDパスワードなど

SQLインジェクションやクロスサイトスクリプトを防止するためにエスケープ処理を行うのが一般的

# ナビゲーションの意味と事例

---

ビジュアルコンテンツデザイン 第5回(2)

# ナビゲーションの目的と構成要素

---

Webサイトにおけるナビゲーション  
とは

ユーザが目的のコンテンツに到達するという操作のための  
ユーザインタフェースのこと

ナビゲーションの目的とそれに合った手法を用いることが大切



# 案内するためのナビゲーション(1)

## ナビゲーションバー(メニューバー)



- Webページ上部に配置された横位置のメニュー

- Webサイト内コンテンツを分類・整理した分類名をメニュー化にすることが一般的

# 案内するためのナビゲーション(2)

## ボタンにおけるリンク



▶ ログイン

▶ ユーザー登録

▶ パスワードを忘れた方はこちら

メールアドレス

パスワード

ログイン

• クリックすると別のコンテンツにジャンプするということが理解できるデザインが必要

• ユーザにクリックを強く促す場合は、テキストや画像により補完する場合もある

# 案内するためのナビゲーション(3)

## サイトマップ

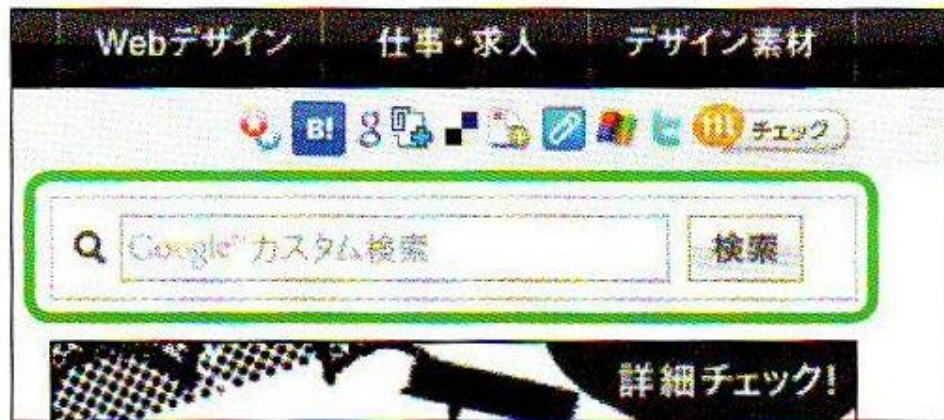


•Webサイトの膨大なコンテンツを一覧表示しすることで全体構造を把握できる

•各Webページへ直接アクセスもできる

# 案内するためのナビゲーション(4)

## Webサイト内検索機能

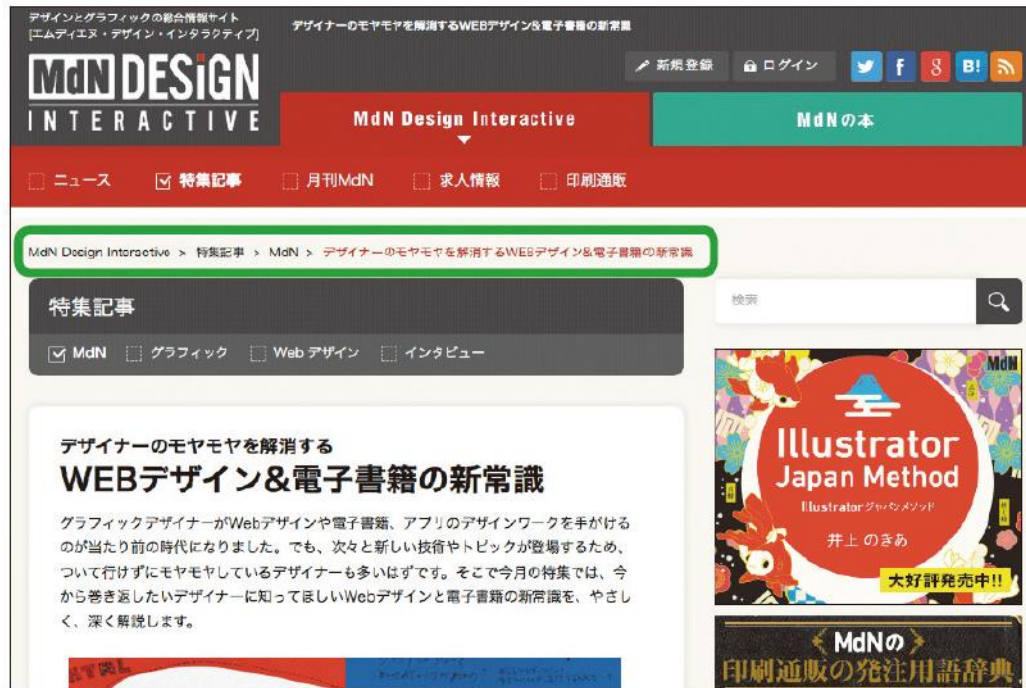


■図 4.11——Webサイト内検索機能の例

- インデックスではなくユーザの指定したキーワードによる検索
- データベースと連携するほか図のような全文検索エンジンを用いることもできる

# 位置情報を示すナビゲーション(1)

## パンくずリスト



- 現在の階層以外に上位階層を表示することによって現在位置を確認できる

- 別名「topic path」



# 位置情報を示すナビゲーション(2)

## メニューフォーカス



•メニュー項目のうち現在表示されているWebページに該当される項目の視覚的表示を変える手法

•深い階層のコンテンツ位置を示すのは困難

# コンテンツ内容・利用法のガイド(1)

## ガイド機能

会員登録

会員登録登録を行います。必須マークの箇所は、必ず入力してください。

必須	氏名	[姓] <input type="text"/> [姓] <input type="text"/> [名] <input type="text"/> (例) 田中 太郎
必須	カナ	[姓カナ] <input type="text"/> [セイ] <input type="text"/> [メイ] <input type="text"/> (例) ヤマダ クロコ
必須	メールアドレス	<input type="text"/> (例) sample@famima.com ※「@」の直前に「.」を、「.」の直後に「.」を必ず入力してください。
必須	メールアドレス(確認)	<input type="text"/> ※メールアドレス確認のため再度入力をお願いします。
必須	連絡先電話番号	<input type="text"/> (例) 03-123-45678 (ハイフンなし)
必須	郵便番号	<input type="text"/> (例) 1206018 (ハイフンなし) 郵便番号をご入力いただきますと、ご住所が自動で入力されます。 <a href="#">〒郵便番号検索ページへ</a>
必須	都道府県	<input type="text"/> (都道府県名を選択してください)
必須	住所(郡市区)	<input type="text"/> (例) 豊橋区 ※最大12文字
必須	住所2(町名・番地)	<input type="text"/> (例) 東山3-1-1 ※最大16文字
必須	住所3(マンション名等)	<input type="text"/> (例) ●●●マンション305 ※最大20文字
必須	性別	<input type="text"/> 女性
必須	生年月日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
	このサイトをどこで知りましたか?	<input type="text"/>
	メールマガジン登録 ※複数選択可	<input checked="" type="checkbox"/> famima.comメールマガジン ネットショッピング会員のおあなたにおすすめの商品を厳選してお届けするfamima.comのメールマガジンです。※不定期配信

・入力チェックの際の注意文などをガイド機能として設ける

(© 株式会社ファミマ・ドット・コム)

# コンテンツ内容・利用法のガイド(2)

## ヘルプコンテンツ

The screenshot shows the Famima.com registration form. It includes fields for name, address, email, and password. Red boxes highlight specific areas, and blue callout boxes provide instructions:

- お客情報を入力してください。必須マークのある項目は必ず入力をお願いします。**  
※メールアドレスがログインIDとなります。また、ご注文に関するメールも送付されますので、使い慣れたものをおすすめいたします。
- メールマガジンの配信をご希望のお客様は、こちらで選択してください。**
- ログイン用パスワードを入力してください。**
- 入力内容に誤りがないかご確認の上、このボタンを押してください。**

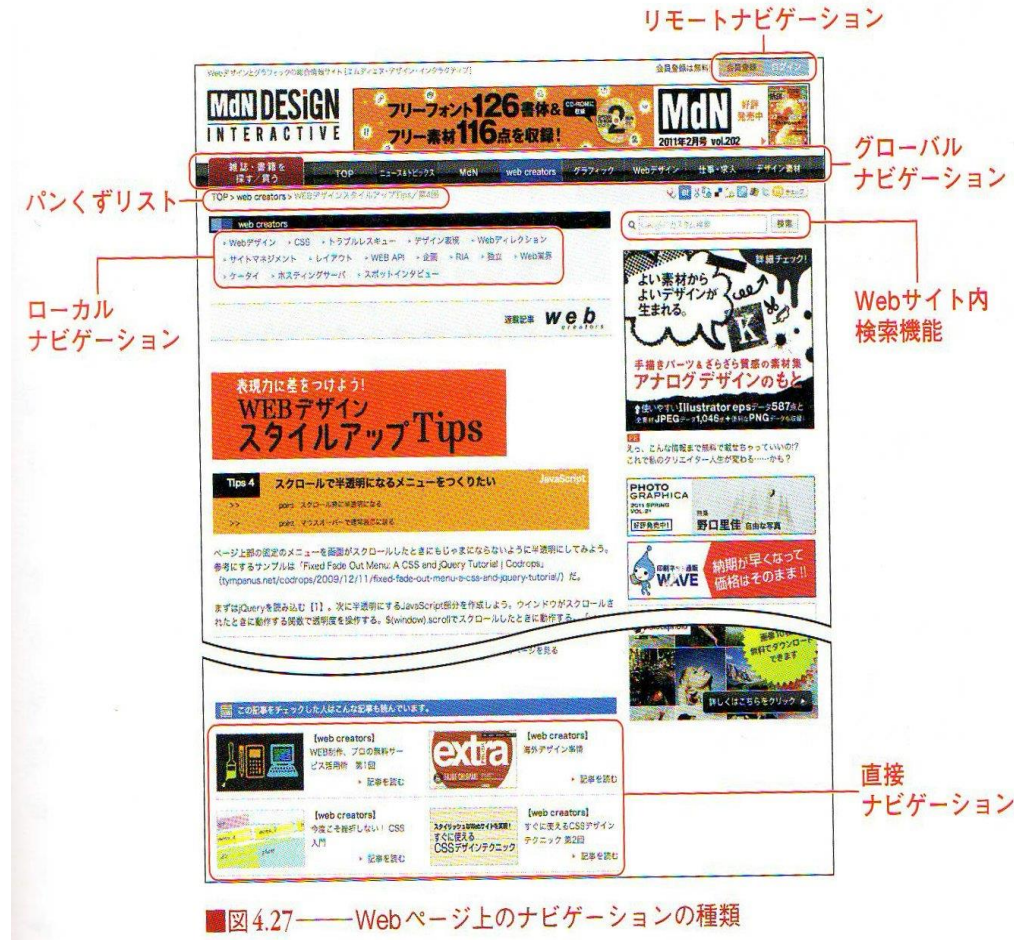
(© 株式会社ファミマ・ドット・コム)

•利用方法や処理完了までの概略を解説するもの

•処理完了まで複数のページ遷移を伴うものやオンラインショッピングなどに多い



# Webページ上に配置されるナビゲーションの種類



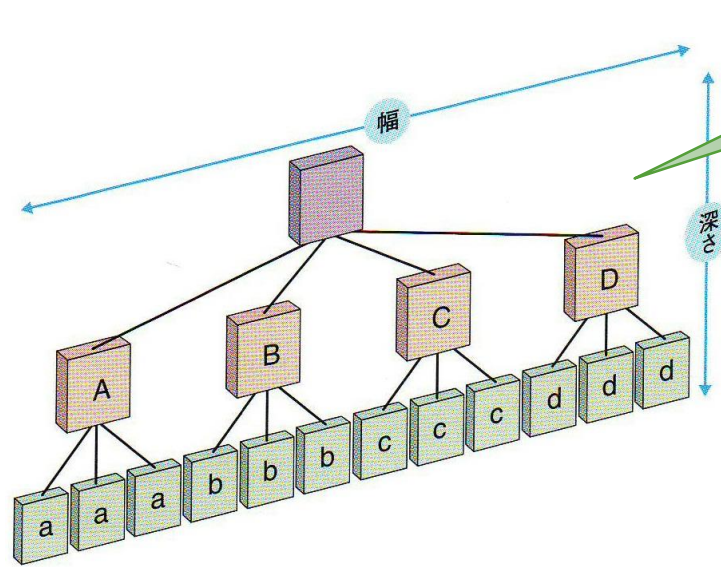
1. グローバルナビゲーション
2. ローカルナビゲーション
3. 直接ナビゲーション
4. リモートナビゲーション
5. パンくずリスト
6. Webサイト内検索機能

# ナビゲーションとWebサイト構造

---

ビジュアルコンテンツデザイン 第5回(3)

# ナビゲーションとWebサイト構造



■図4.24 ツリー構造

主要カテゴリ

メインメニューになる部分  
わかりやすくするため一般的な  
基準で選ぶことが大切

サブカテゴリ

主要カテゴリを補うもの  
コンテンツが多い時は設定する

幅

主要カテゴリや  
サブカテゴリの個数

深さ

メニュー階層数

多すぎると...

選択枝の増加

目安

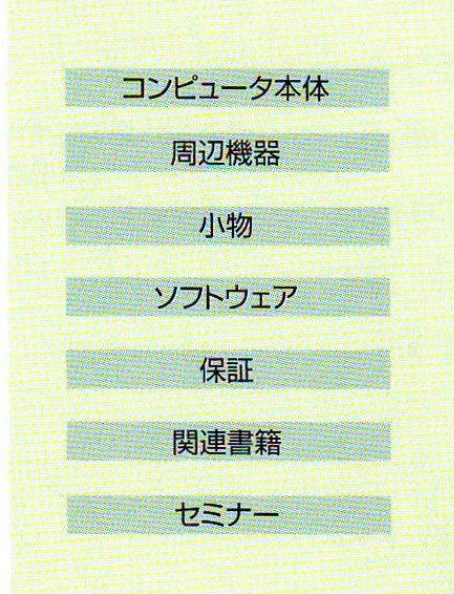
6項目くらい

多くても4階層まで

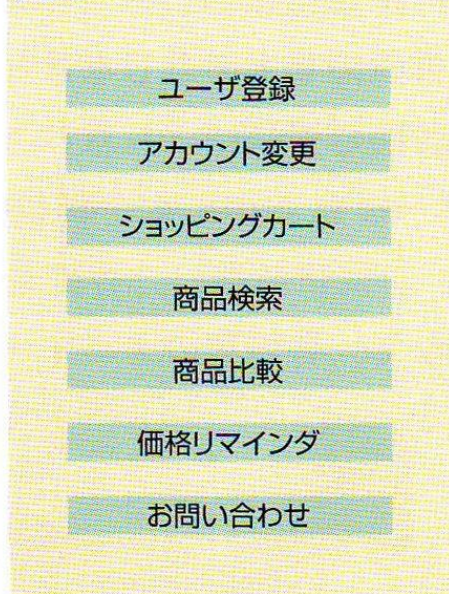
目的の情報に  
たどり着けない！

# ナビゲーションの設計(代表的な分類基準)

コンテンツグループをもとにしたメニュー



タスクグループをもとにしたメニュー



## コンテンツグループ

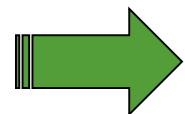
情報の内容を基準として分類

## タスクグループ

Webサイト上で提供される  
タスクを基準として分類

■図4.26——2種類の分類基準を配置したナビゲーションとしてのメニュー

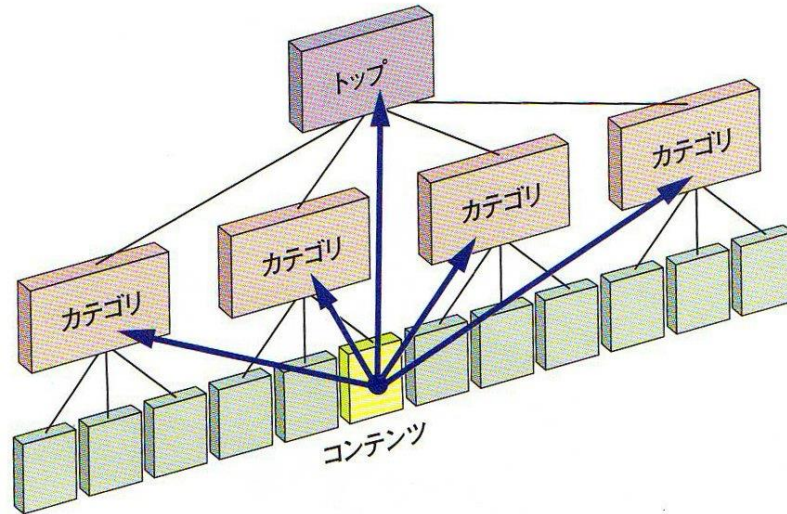
両者を混在させると混乱を招きがち



それぞれ異なるナビゲーションで表現



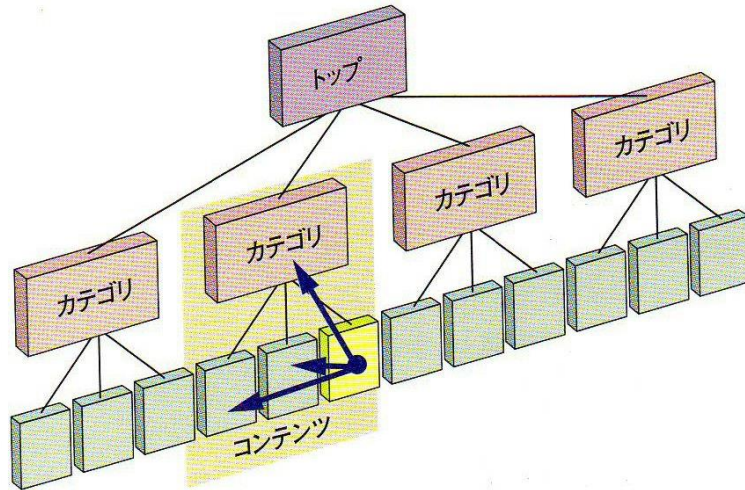
# ①グローバルナビゲーション



■図 4.28 — グローバルナビゲーション

- すべてのWebページ上でつねに同じ位置にレイアウトされるナビゲーション
- 一般的にはトップページ(またはエントランスページ)へのリンクを含む
- リンク先はサブカテゴリのメニューが配置されたページやローカルナビゲーションが表示されたページになることが多い

## ②ローカルナビゲーション

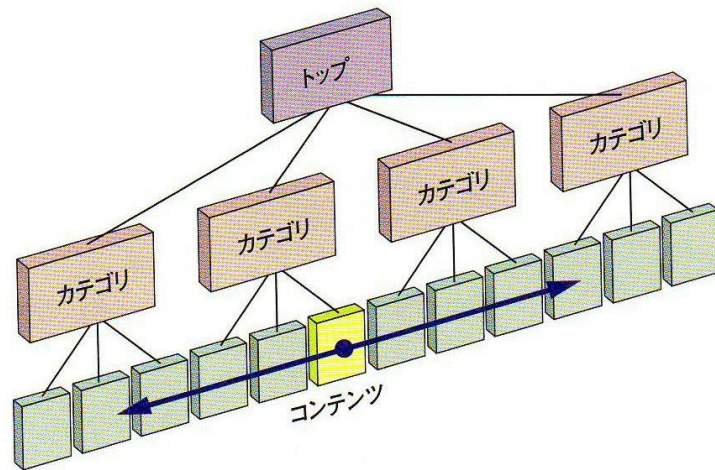


■図 4.29——ローカルナビゲーション

- 特定のセクションに配置されることでのみ利用されるメニュー

- 異なるカテゴリには移動できない

# ③直接ナビゲーション

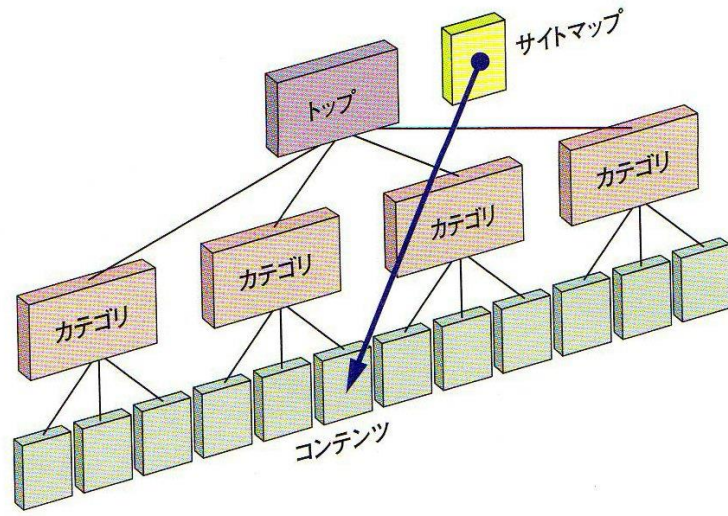


■図 4.30 直接ナビゲーション

- Webサイト内の階層構造とは全く関係なくコンテンツの内容に関連性のある別のコンテンツへと直接アクセスするためのリンク

- 無秩序にリンクし続けるとユーザーが迷子になる可能性が高くなるので注意

# ④リモートナビゲーション



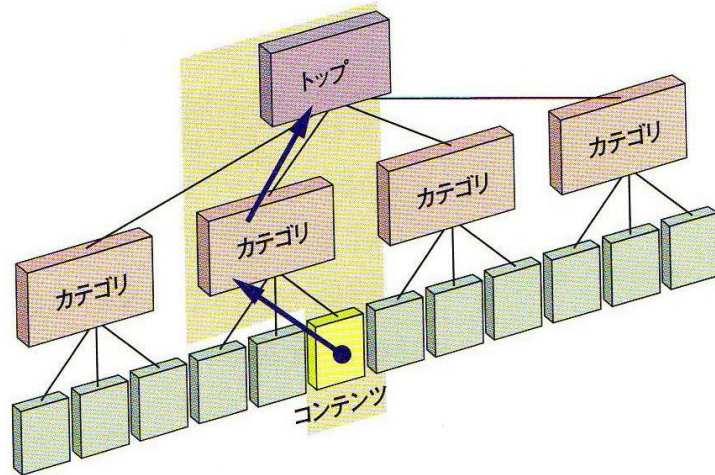
■図4.31—リモートナビゲーション

- サイトマップやサブカテゴリのトップなどに採用するインデックス(リンク一覧)など

- サイト利用方法のガイダンスページなどから、階層構造とは別の視点でコンテンツを案内するナビゲーションもこれにあたる



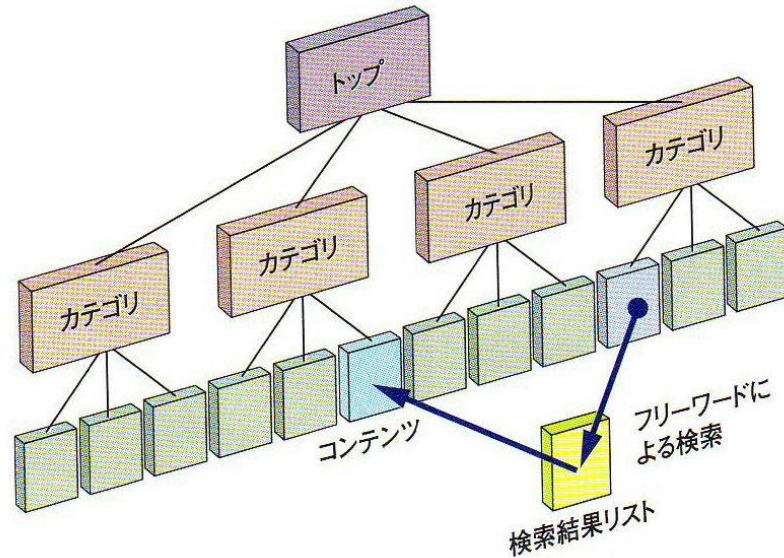
## ⑤パンくずリスト(階層ナビゲーション)



■図 4.32 — パンくずリスト (階層ナビゲーション)

•閲覧中のWebページの上位階層を網羅して表示することで、現在の位置情報を表すパンくずリストもナビゲーションと考えられる

## ⑥Webサイト内検索機能



■図 4.33——Web サイト内検索機能

•生成される検索リストは  
インデックスページである  
ことが一般的である

# ナビゲーションデザインの手法

---

ビジュアルコンテンツデザイン 第5回(4)

# Webコンテンツにおけるナビゲーションデザイン

ナビゲーション機能の操作性は  
日常的な行為に由来しているものが多い

Ex)一般的なテキストリンクのカラーリング  
未訪問:青 訪問済み:紫

ユーザにとって周知の方法をとるのが良い



■図4.34——一般的なテキストリンクカラーの例

変更するならある程度周知の規則にのっとったものにするとい  
EX)コーポレートカラーに合わせたカラーリングにテキストリンクする場合

- 未訪問, 訪問済みで色を変える
- リンクテキストにはスタイルとして下線を付ける
- 非リンク部分とコントラストのあるカラーリングにする

# ナビゲーションの実装方法

---

CSSのみで実現

JavaScript + CSS

- マウスオーバーなどユーザに反応できる
- アニメーションが利用できる
- CSSによる他の項目と差別化できるデザイン

オリジナルで作成するか、ライブラリーを利用するか



# ドロップダウンメニュー



■図 4.35——下方向に表示されるドロップダウンメニューの例



■図 4.36——横方向に表示されるドロップダウンメニューの例

# リストタグとCSSでメニューをつくる

- [HOME](#)
- [ニュース](#)
  - [新製品](#)
  - [新サービス](#)
  - [弊社について](#)
- [製品・技術](#)
  - [ハードウェア](#)
  - [ソフトウェア](#)
  - [ウェブサービス](#)
- [会社情報](#)
  - [会社概要](#)
  - [社長挨拶](#)
  - [沿革](#)
  - [所在地](#)
- [お問い合わせ](#)
  - [よくあるご質問](#)
  - [お問い合わせ先](#)

HTML



CSSで横に並べる  
マウスオーバーを指定 (hover)



CSSでサブメニューを表示  
マウスオーバーを指定 (hover)



Divで固定

# ナビゲーションの実装方法

---

CSSのみで実現

JavaScript + CSS

- マウスオーバーなどユーザに反応できる
- アニメーションが利用できる
- CSSによる他の項目と差別化できるデザイン

オリジナルで作成するか、ライブラリーを利用するか



# ポップアップメニュー



■図4.37——ポップアップメニューの例

ドロップダウンメニュー＝ナビゲーションエリア

ポップアップメニュー＝コンテンツエリア内

に配置されることが多い

# 項目のスクロール



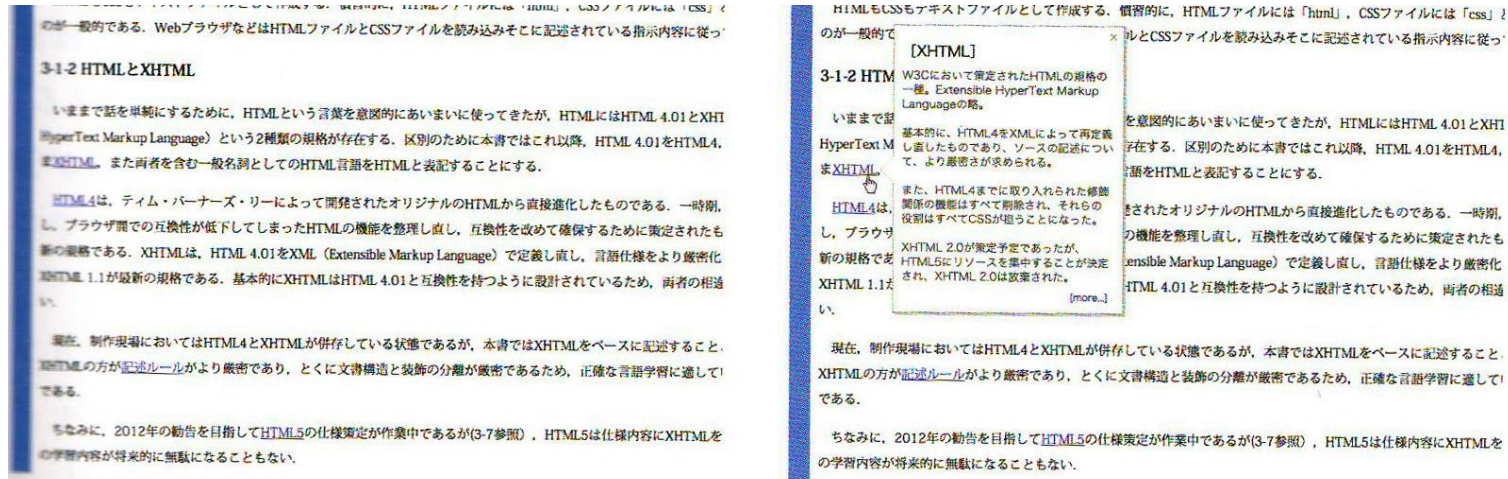
■図4.38——項目のスクロールの例

Ajaxを利用して表示する内容を動的に変えるものも多い

ライブラリーの利用が有効



# ポップアップ



■図4.39——情報のポップアップの例



■図4.40——透過した状態での情報のポップアップの例

ちょっとした情報を表示して  
閲覧しやすくするために利用